

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 115 2019年6月

発 行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第 32 回秋季信頼性シンポジウム 発表募集のご案内

- (日 時) 2019年11月11日(月) 10:00～19:00《時間は予定です》
(会 場) 一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル(杉並区高円寺南 1-2-1)
(主 催) 日本信頼性学会
(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟
(協 賛) 特定非営利活動法人安全工学会, 公益社団法人応用物理学会, 研究・イノベーション学会,
一般社団法人電気学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 公益社団法人日本オペレーショ
ンズ・リサーチ学会, 一般社団法人日本開発工学会, 一般社団法人日本機械学会, 公益社
団法人日本経営工学会, 一般社団法人日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間
工学会, 一般社団法人日本品質管理学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会,
IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter 《後援・協賛は予定です》

<発表のおすすめ>

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思いますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思います。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

<推薦論文のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの1ないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌への投稿を推薦いたします。推薦論文は、通常よりも短い期間で審査を行います(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。なお、今回のシンポジウムの推薦論文については、掲載可と判定された場合、掲載に必要な費用が免除されます。

< 予定セッション構成 >

1. 【組織, 管理, 規格, プロジェクト管理面】生産システム, 組織改革, 管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例. 管理手法適用事例, 人間信頼性, 社会との関わり, または新手法.
2. 【試験, 故障解析, 部品, 要素技術の信頼性, ハードウェア面】部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析, 物性 (接続, 接着, 腐食, 摩耗, 疲労, マイグレーションなど), 全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例.
3. 【システムの信頼性, 保全性, ライフサイクルおよびソフトウェア面】システムまたはソフトウェアの信頼性, 保全性, ライフサイクルコスト, リサイクル, リユース, 保全支援活動の設計, 解析, 保証事例・改善事例など.
4. 【安全性, リスク】産業安全, 製品安全, リスク解析など.
5. 【データ収集, 解析】情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など
高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など.
6. 【理論, 一般】基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など.

< 参加費と発表者の特典 >

[シンポジウム参加費] 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円, 非会員 4,000 円, 学生 1,500 円
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者 (1 名) は情報交換会にご招待いたします.

< 発表申込方法 >

申込方法 学会ホームページ <https://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=110> の「発表申込書」に発表概要を記載の上, 電子メールにてお申し込み下さい.
または, 最終ページの発表申込書に記載して FAX にてお申込ください.

申込期限 2019 年 8 月 19 日 (月) まで

審査結果 2019 年 8 月 26 日 (月) 頃までにご連絡いたします

発表原稿締切 2019 年 10 月 7 日 (月) ワードプロで A4 判 4 枚

お問合せ・申込先 日本信頼性学会事務局 〒166-0003 杉並区高円寺南 1-2-1 (一財) 日科技連内
TEL03-5378-9853 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会関西支部 2019 年度第 1 回講演会

(日 時) 2019 年 7 月 12 日 (金) 14:00~17:00
(会 場) 新藤田ビル 11 階 日科技連・大阪事務所研修室 (大阪市北区堂島 2-4-27)
(講演者) 土肥 正 氏 [広島大学学術院教授 情報科学部副学部長, 日本信頼性学会会長]
(題 目) 「ソフトウェア・ディペンダビリティ」
(内 容) コンピュータシステムの高信頼化を達成するためにはシステム上で動作するソフトウェア自体の信頼性を向上させることが必要であり, バグのないソフトウェアを開発すること自体はソフトウェアサイエンス及びソフトウェア工学全般の遠大な課題にもなっている. 一方で, テスト環境ではほとんど見つけることの出来ないバグの存在が認識されており, 環境分散技術と呼ばれる耐故障技術の考え方をソフトウェアシステムの安全な運用に用い

る試みが欧米を中心になされている。本講演では、テスト段階におけるバグ検出情報からソフトウェア信頼度を定量的に評価するソフトウェア信頼度成長モデルや設計分散技術と呼ばれるソフトウェアの冗長技術といった古典的な技術を体系的に概観した後、ソフトウェアの老化象に着目した「ソフトウェア若化」と呼ばれる環境分散技術について解説する。

前半は、米国 Duke 大学と広島大学で共同開発した大学院生向けの教材を加筆修正したものをを用いる。後半は、講演者らによって立ち上げられた国際会議 WoSAR の活動内容や、本年度 World Scientific Publisher から出版予定のハンドブックの内容を中心に講演を行う予定である。

(参加費) 会員及び学生：無料 非会員：2,000 円

(申込方法) 日本信頼性学会のホームページ (<http://www.reaj.jp/>) からご予約ください。

(参加人数) 30 名とします。定員になり次第締め切ります。

(申込締切) 2019 年 7 月 5 日 (金)

(問合せ先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [山田]

〒530-0003 大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル 11 階

一般財団法人 日本科学技術連盟 大阪事務所 内

TEL06-6341-4627 FAX06-6341-4615 E-mail : ht-yamada@juse.or.jp

日本信頼性学会 故障物性研究会 8 月例会 (第 145 回)

(日 時) 2019 年 6 月 28 日 (金) 13:00~17:00

(場 所) 日科技連 本部 (西新宿) 新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル4階 Room-E

*地図 http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf

(東高円寺ビルではありません。お間違えのないようお願いいたします。)

(議 題) 決まり次第、学会 HP https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72 に掲載いたします。

(問合せ先) 日本信頼性学会事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟内

TEL03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

Lcc (Life cycle costing) 研究会は Lcc に興味・関心があるという共通項を持ちつつ、信頼性工学、会計学など異なる専門分野やバックグラウンドを持つ 10 名前後の研究会メンバーで活動を行っています。年に 5 回ほど、原則として金曜日の夜に東高円寺もしくは西新宿の日科技連ビルに集まり研究会を開催しております。

2017 年度からは、Lcc の研究を進めるうえで有用と考えられる IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) の検討を開始し、研究成果を信頼性シンポジウム等で発表していく予定です。

私たちと一緒に Lcc の研究を進めてくださる仲間を募集しています。現段階で日本信頼性学会の会員ではなくても研究会にご参加いただくことは可能です。Lcc 研究会に少しでもご関心がある方は、まずは下記のメールアドレスにご連絡をいただき、一度研究会の様子をご見学いただければ幸いです。ご連絡をお待ちしています。

- (日 時) 2019年9月6日(金) 18:00～20:00
2019年10月12日(土) 13:00～17:00
- (場 所) (9/6) 日科技連本部(西新宿)
*地図 http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf
(10/12) 東京都23区内で会場調整中
【ご注意】10/12に限り事前に参加登録が必要になるため、参加登録いただいた方には会場が確定次第、ご連絡いたします。ご参加をご希望の方は主査までご連絡ください。
- (検討内容) IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) について、特にLife Cycle Costingとの関連を意識しながら検討していきます。
- (連絡先) 研究会主査 中島洋行 - hiroyuki.nakajima@meisei-u.ac.jp
詳細は、https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45 よりご参照ください。

安全工学シンポジウム 2019—多様化する社会の安全・安心—

安全工学シンポジウム 2019 は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめ13件のオーガナイズドセッション、3件のパネルディスカッション、約60件の一般講演等の開催が予定されております。

当学会でも「電気電子機器の発火リスク」のテーマでオーガナイズドセッションを企画し、共催参加しておりますので、皆様より多数のご参加をお待ちしております。

- (主 催) 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
- (共 催) 公益社団法人日本化学会(幹事学会) ほかに34学協会
- (会 期) 2019年7月3日(水)～5日(金)
- (会 場) 日本学術会議(港区六本木7-22-34) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口
- (参加費) 入場無料(事前登録不要)
ただし、講演予稿集を当日会場で実費頒布(一般5,000円、学生2,000円)
- (懇親会) 7月4日(木) 16:30～18:30(予定)
会費3,000円(予定)。シンポジウム会場受付にてお支払ください。

●特別講演

- (日 時) 7月4日(木) 12:30～13:30(予定)
- (演 題) 大転換時代と安全・安心(仮題)
- (講 師) 安井 至 氏(一般財団法人持続性推進機構理事長/東京大学名誉教授/
前独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長)

●基調講演

- (日 時) 7月5日(金) 13:00～14:00(予定)
- (演 題) 大型イベントの危機管理～オリパラ・万博を安全に迎えるために
地震からテロまで多様な危機に備える～
- (講 師) 野口 和彦 氏(横浜国立大学)

●パネルディスカッション

- ・未来社会の安全・安心（仮題）（連携 PD）
- ・安全目標の新たな体系化
- ・安全活動と人材育成大型イベントの危機管理 ～オリパラ・万博を安全に迎えるために地震からテロまで多様な危機に備える～

●オーガナイズドセッション

- ・遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価・管理
- ・エアバッグ安全に関わる課題と対策について
- ・今後の NTS（ノンテクニカルスキル）訓練を考える
- ・再発防止の取り組みについて～事故防止のあり方を考える
- ・RBSM (Risk Based Safety Management) の紹介と産業界での実施，展開
- ・リスクセンス向上手法の開発と実践
- ・リスク共生社会に於けるリスクマネジメント活性化手法の開発
- ・構造物の計画から維持管理までの安全
- ・大規模火災に対する建築物等の安全性確保と継続使用
- ・電気電子機器の発火リスク<日本信頼性学会企画>
- ・学際的リスク学分野の体系化～「リスク学事典 2019」
- ・電気設備の品質向上とメンテナンス高度化における安全・安心技術
- ・効果的な警告音とは何か

<日本信頼性学会オーガナイズドセッション>

(テーマ) 電気電子機器の発火リスク

(会期) 2019年7月4日(木) 10:00～11:40

(会場) 日本学術会議 第1室講堂

(講演者・タイトル)

1. 安全性を脅かす信頼性メカニズム
日本信頼性学会副会長・(株)リコー 門田 靖氏
2. プリント基板の絶縁性能劣化による発煙・発火防止の未然防止と安全規格の問題点
(株)ピース電気 久永 光司氏, 会員 日本電気(株) 小林 健二氏
3. リチウムイオン電池の安全性について
会員(独)製品評価技術基盤機構 神山 敦氏
4. 樹脂成形品の難燃剤による品質問題
会員 楠本化成(株) 廣岡 知之氏

日本信頼性学会オーガナイズドセッションの講演概要は学会 HP に掲載しています。

安全工学シンポジウムの詳細は、<http://www.chemistry.or.jp/event/calendar/2019/02/2019--.html> よりご参照ください。

マテリアルライフ学会 第30回研究発表会，特別講演会

(日時) 2019年7月4日(木)～5日(金)

(主催) マテリアルライフ学会

(協賛) 日本信頼性学会 他

(会場) 国立大学法人 名古屋工業大学 4号館ホール

(問合先) マテリアルライフ学会
〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 創文印刷工業(株)内
TEL03-3893-3692 FAX03-3893-3603 E-mail : mls@kt.rim.or.jp
詳細は, <http://materials-life.org/> よりご参照ください.

第 49 回信頼性・保全性シンポジウム

1971年に開始した当シンポジウムは、いろいろな分野の信頼性・保全性・安全性に携わるエンジニア、マネージャー、研究者の方々にご参加いただき、実践的な技術・経験・研究成果を共有し、意見交換・討議などを行うとともに、基調講演、特別講演、招待講演、特別企画セッション、展示コーナー、フォトコンテストなど、多彩な人的交流と情報交換の場を提供することを主眼として開催しています。貴社の信頼性・保全性活動をより一層発展させるためにも、ぜひともご参加くださるようお願いいたします。

(日 時) 2019年7月18日(木)～19日(金)
(主 催) 日本科学技術連盟
(後 援) 日本信頼性学会他
(会 場) 日本教育会館(東京都千代田区一ツ橋)
(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営研修センター 49R&MS 担当
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1
TEL03-5378-9850 FAX03-5378-9842 E-mail : re-group@juse.or.jp
詳細は, <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/49rms> よりご参照ください。
発表分野に関する詳細は, <http://www.juse.or.jp/src/seminar/subpage/234/3/607> に記載しています。

第 41 回安全工学セミナー(化学品を扱うプロセスの災害防止)

(日 時) 物質危険性講座 : 2019年9月5日(木)・6日(金)
危険現象講座 : 2019年10月1日(火)・2日(水)
プラント安全講座 : 2019年11月14日(木)・15日(金)
安全マネジメント講座 : 2020年1月27日(月)・28日(火)
(主 催) 安全工学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 9月・10月・化学会館, 11月化学会館(予定), 1月 機械振興会館
(募集人員) 各講座30名
(問合先) 特定非営利活動法人安全工学会
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル 6F
TEL03-36206-2840 FAX03-6206-2848 E-mail : jsse-2004@nifty.com
詳細は, <http://www.jsse.or.jp> よりご参照ください。

第 11 回知識構造化シンポジウム

(日 時) 2019年9月6日(金) 13:30～17:00
(主 催) 日本科学技術連盟

(後 援) 日本信頼性学会他
(会 場) 東京証券会館ホール (中央区日本橋茅場町 1-5-8)
(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営研修センター 研修運営グループ
TQM チーム SSM-S 担当 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1
TEL03-5378-1213 FAX03-5378-9842 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp
詳細は, <http://www.juse.or.jp> よりご参照ください.

センサ・アクチュエータ・マイクロナノ／ウィーク 2019 次世代センサ総合シンポジウム “社会活動の新生産性向上を目指して”

(日 時) 2019 年 9 月 11 日 (水) ~13 日 (金)
(主 催) 次世代センサ協議会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東京ビックサイト 会議棟 6F 610 号室 (江東区有明 3-11-1)
(定 員) 1 セッション 60 名 (各セッション定員になり次第, 締め切らせていただきます)
(問合先) 一般社団法人次世代センサ協議会 事務局
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4F
TEL03-5294-2333 E-mail : office@jisedaisensor.org
詳細は, <http://www.jisedaisensor.org/2019week.html> よりご参照ください.

OR 学会 2019 年秋季シンポジウム (第 81 回)

(日 時) 2019 年 9 月 11 日 (水)
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東広島芸術文化ホールくらら (広島県東広島市西条栄町 7-19)
(テーマ) OR の原点: 理論と産業応用
(事前参加申込締切) 9 月 2 日 (月)
(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : oota@orsj.or.jp
詳細は, <http://www.orsj.or.jp/activity/symposium.html#a> よりご参照ください.

OR 学会 2019 年秋季研究発表会

(日 時) 2019 年 9 月 12 日 (木) ~13 日 (金)
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東広島芸術文化ホールくらら (広島県東広島市西条栄町 7-19)
(テーマ) 地方創生と OR
(発表申込締切) 7 月 5 日 (金)
(事前参加申込締切) 9 月 2 日 (月)

(問合せ先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : oota@orsj.or.jp
詳細は、 <http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a> よりご参照ください。

No.19-35 講演会 第 29 回設計工学・システム部門講演会

2019 年度の 日本機械学会 第 29 回設計工学・システム部門講演会 を宮城県仙台市東北大学流体科学研究所で開催します。東北地方での開催は 2011 年の山形以来 8 年ぶりになります。

2011 年は東日本大震災が発生した年になります。あれからほぼ 8 年がたちますが、2018 年 11 月現在でも 5 万人を超える方が避難所生活をされており、復興に向けた道のりはまだ道半ばと言わざるをえません。今回の講演会では、講演会前日の 9 月 24 日(火)に被災地をめぐるエクスカージョンを企画しております。大規模自然災害に対する防災や災害後の復興に関して、設計工学・システム部門はなにができるのかと言う点に思いをはせることのできる講演会にしたいと考えています。

※復興の現状と課題については、復興庁の資料をごらんください。

本講演会のもう 1 つのキーワードとしては、「インタラクション」をあげたいと思います。本講演会では、産業界の研究者の皆様も参加しやすくなるように 9 月 25 日(水)から 27 日(金)の平日に開催することにいたしました。また、設計工学・システム技術の実利用に関する講演を積極的に募集したいと考えていますので、学术界の研究者はもちろんのこと、産業界の研究者の皆様も積極的にご参加いただけたらと思います。

また、本講演会は 9 月 25 日(水)から 27 日(金)のお昼まで開催いたしますが、9 月 23 日(月)～24 日(火)には同じ会場で iDECON/MS2019 が開催されます。また、9 月 24 日(火)午後は iDECON/MS2019 と合同のエクスカージョンが企画されています。さらに、27 日(金)の午後からは同じ会場で進化計算学会主催の進化計算研究会(参加費無料)が開催されます。この週は 9 月 23 日(月)から 9 月 28 日(土)まで日程を確保いただき、異なる研究分野間のインタラクションもご堪能いただけたらと思います。

(日 時) 2019 年 9 月 25 日(水)～27 日(金)
(主 催) 日本機械学会 設計工学・システム部門
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東北大学 流体科学研究所(仙台市青葉区片平 2-1-1)
(問合せ先) 一般社団法人日本機械学会 設計工学・システム部門(担当職員 上野氏)
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階
TEL03-5360-3505 FAX03-5360-3509 E-mail : ueno@jsme.or.jp
詳細は、 <https://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf19/> よりご参照ください。

第 9 回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム (JCOSSAR2019)

本会議は構造物の安全性・信頼性に関する諸問題について、専門領域を越えた幅広い研究発表および討論を通じて、当該技術レベルと学術の向上を図ることを目的に開催される国内総合シンポジウムである。主催は日本学術会議で、多くの関係学協会との共催・協賛を得て実施されるものである。

同一分野の国際会議 ICOSSAR(International Conference on Structural Safety and Reliability)が 4 年ごとに開催されており、2017 年に ICOSSAR2017 がオーストリア(ウィーン)で開催され、さらに 2021 年には中

国（上海）にて次回が開催されることが決定されている。本シンポジウム(JCOSSAR)は、1985年に第4回目の ICOSAR'85 が日本（神戸国際会議場）で開催された折に、この会議の中間年に国内シンポジウムを開くことが提案され直ちに実施することになり、日本学術会議主催のもとに第1回目が日本材料学会を幹事学会として1987年に日本学術会議で開催された。以来、この方針で1991年（土木学会）、1995年（日本建築学会）、2000年（日本機械学会）、2003年（日本材料学会）、2007年（土木学会）、2011年（日本建築学会）、2015年（日本機械学会）の順に継続的に開催され、このたび日本材料学会を幹事学会として2019年に本シンポジウム JCOSSAR2019 を開催する運びとなった。

ここで対象とする構造物は機械、土木構造物、建築構造物、地盤、産業・エネルギープラント、海洋構造物、船舶、自動車、鉄道車両、航空・宇宙機器など多岐にわたるが、これらの構造物の安全性・信頼性に関わる共通の課題として、材料・構造部材・構造システムの信頼性理論、荷重の計測・評価、設計・製作・保守・管理、自然的原因による災害、人為的原因による災害、リスク評価と対策、保険・保証の取扱い等が、幅広く発表・討論の対象となる。とくに最近の学術的な研究成果だけでなく、産業界の現場における技術的実践に関する事例や技術開発に関する報告を大いに歓迎するものである。また、現時点で完結していなくても、現在進行中の研究や各種プロジェクトに関する中間報告も大変意義深く、幅広い研究発表と討論を期待する。

また、本シンポジウムにおいて、広範な分野の研究者・技術者が専門の枠を越え、相互に研究発表を行い、自由な討論と技術交流を通じて、構造物の安全性・信頼性確保に関する研究の推進や技術の向上が大きく前進するものと確信する。関係各位、多数の参加を期待する。

- (日 時) 2019年10月23日(水)～25日(金)
- (主 催) 日本学術会議 機械工学委員会
- (後 援) 日本信頼性学会(予定)他22学協会
- (会 場) 日本学術会議講堂 他3室
- (問合せ先) 公益社団法人日本材料学会 JCOSSAR2019 担当
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101
TEL075-761-5321 FAX075-761-5325 E-mail : jcos2019@jcosar2019.jsms.jp
詳細は、 <http://jcosar2019.jsms.jp/index.html> よりご参照ください。

第39回ナノテストングシンポジウム (NANOTS2019)

LSI等のナノスケール構造を持った材料・デバイスのテストング(テスト, デバック・診断, 物理解析)技術を主たるテーマとするシンポジウムです。アブストラクトの査読が行われます。

- (日 時) 2019年11月18日(月)～19日(火)
- (主 催) ナノテストング学会
- (協 賛) 日本信頼性学会他
- (会 場) 国際ファッションセンター KFC Hall (東京都墨田区横綱1-6-1)
- (問合せ先) ナノテストング学会 事務局 三浦氏, 御堂氏
〒565-0871 吹田市山田丘1-5 大阪大学大学院 情報科学研究科 情報システム工学専攻
集積システム診断学講座内
TEL06-6879-7813 FAX06-6879-7812 E-mail : NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp
詳細は、 <http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/> よりご参照ください。

第 10 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム

第 10 回目となる本シンポジウムでは、電気学会センサ・マイクロマシン部門主催第 36 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム、応用物理学会集積化 MEMS 技術研究会主催第 11 回「集積化 MEMS シンポジウム」が同時開催されます。

また、エレクトロニクス実装学会との連携セッションも同時開催されます。マイクロ・ナノ工学シンポジウムに参加登録されますと、これらの同時開催シンポジウム、セッションの講演、行事に参加できます。

昨年度に引き続き、一般講演を全てポスター発表とすることで、マイクロ・ナノ工学部門はもちろん、他学会、他分野の研究者・技術者とのより一層密な交流ができる場となっております。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

さらに、優秀な講演・ポスター発表を行った研究者の中から、日本機械学会若手優秀講演フェロー賞、優秀講演論文表彰、若手優秀講演表彰などを選考し、後日授与する予定です。皆様の積極的な論文投稿、参加をお待ちしております。

(日 時) 2019 年 11 月 19 日 (火) ～21 日 (木)

(主 催) 日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門

(協 賛) 日本信頼性学会他

(会 場) アクトシティ浜松 <https://www.actcity.jp/access/>

(問合先) 一般社団法人日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門 (担当職員 大通氏)

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階

TEL03-5360-3504 FAX03-5360-3507 E-mail : daitsu@jsme.or.jp

詳細は、<https://www.jsme.or.jp/event/2019-40750/> よりご参照ください。

JST/RISTEX「人と情報のエコシステム」研究開発領域 2019 年度新規研究提案の募集

JST の戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発) は、「人と情報のエコシステム (HITE)」研究開発領域 (<http://ristex.jst.go.jp/hite/>) の 2019 年度年度新規研究提案の募集を開始いたしました。

本領域では AI, ロボット, IoT といった情報技術が加速度的に進展する現在、いかにそれら技術が社会に浸透し、人間の暮らしになじんでいくか、またその時どんな問題が起きうるかを考え、新たな制度や技術を設計していくための研究開発を推進しています。

2019 年度は英国の UK リサーチ・イノベーション (UK Research and Innovation, UKRI) 傘下の Economic and Social Research Council (ESRC) と Arts and Humanities Research Council (AHRC) と連携し、日本と英国との共同プロジェクトを募集します。

本領域のこれまでの取り組みから、人間の行動の自律性や人間と機械の関係性の捉え方などにおいて、西洋近代主義と日本の伝統に基づく考え方の違いが浮かび上がってきています。そのようなテーマについて比較研究を行い、お互いが認めあえるガバナンスの仕組みづくりのプラットフォームが、日英共同プロジェクトで進むことを望んでいます。

*HITE 領域紹介冊子 : <https://www.jst.go.jp/ristex/hite/topics/406.html>

(募集期間) 2019 年 5 月 8 日 (水) 正午 ～ 2019 年 7 月 17 日 (水) 正午

(問合先) 国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室 募集担当
 E-mail : boshu@jst.go.jp TEL03-5214-0133
 詳細は、 <https://www.jst.go.jp/ristex/hite/topics/408.html> よりご参照ください。

The 9th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling (APARM2020)

(日 時) 2020年8月20日(木)～23日(日)
 (主催団体) APARM2020 実行委員会
 (協 賛) 日本信頼性学会 他
 (主会場) カナダ連邦, ブリティッシュコロンビア州, バンクーバー市
 詳細は、 <http://www.aparm2020.org/> よりご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
安全工学シンポジウム 2019	日本学術会議 港区六本木	2019/7/3-5		https://www.anzen.org/
マテリアルライフ学会 第30回研究発表会, 特別講演会	名古屋工業大学 名古屋市昭和区	2019/7/4-5		http://materials-life.org/
<u>関西支部 2019年度第1回講演会</u>	日科技連大阪事務所 大阪市北区	2019/7/12		https://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=108
日科技連 第49回信頼性・保全性シンポジウム	日本教育会館 千代田区一ツ橋	2019/7/18-19	2019/2/12	http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/49rms
The Joint Statistical Meetings 2019 (JSM2019)	Denver USA	2019/7/27-8/1	2019/2/4	http://www2.amstat.org/meetings/jsm/2019/
The 62nd ISI World Statistics Congress	クアラルンプール マレーシア	2019/8/18-23	2019/1/31	http://www.isi2019.org/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 本部(西新宿)	2019/8/30		https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72
第41回安全工学セミナー(化学品を扱うプロセスの災害防止)	化学会館 機械振興会館	2019/9/5-6 2019/10/1-2 2019/11/14-15 2020/1/27-28		http://www.jsse.or.jp
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 本部(西新宿)	2019/9/6		https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45
第11回知識構造化シンポジウム	東京証券会館ホール 中央区	2019/9/6		http://www.juse.or.jp/
センサ・アクチュエータ・マイクロナノ/ウィーク 2019 次世代センサ総合シンポジウム “社会活動の新生産性向上を目指して”	東京ビックサイト 江東区	2019/9/11-13		http://www.jisedaisensor.org/2019week.html
OR学会 2019年秋季シンポジウム(第81回)	東広島芸術文化ホール 東広島市	2019/9/11		http://www.orsj.or.jp/activity/symposium.html#a

OR 学会 2019 年秋季研究発表会	東広島芸術文化ホール 東広島市	2019/9/12-13		http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a
No.19-35 講演会 第 29 回設計工学・システム部門講演会	東北大学流体科学研究所／仙台市	2019/9/25-27		https://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf19/
Lcc 研究会	東京都 23 区内の会場にて調整中	2019/10/12		https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45
ANQ Congress 2019	The Berkeley Hotel Pratunam バンコク, タイ	2019/10/23-24		
第 9 回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム (JCOSSAR2019)	日本学術会議 港区	2019/10/23-25		http://jcossar2019.jsms.jp/
第 32 回秋季信頼性シンポジウム	日科技連 東高円寺ビル	2019/11/11		https://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=110
第 39 回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS2019)	国際ファッションセンター／墨田区	2019/11/18-19		http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/
第 10 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム	アクトシティ浜松 浜松市	2019/11/19-21		https://www.jsme.or.jp/event/2019-40750/
Symposium in Reliability Theory and Industrial Statistics	The Hang Seng University of Hong Kong, 香港	2019/12/12-13		
日科技連 第 109 回 品質管理シンポジウム	大磯プリンスホテル 大磯	2019/12/5-7		https://www.juse.jp/qcs/
The 9th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling (APARM2020)	Vancouver Canada	2020/8/20-23		http://www.aparm2020.org/

日本信頼性学会 第32回秋季信頼性シンポジウム
発表申込書

(申込期限 2019年8月19日)

申込日 2019年 月 日

題 目		希望 セッション (○印)	1 2 3 4 5 6
発表者 (登壇者○印)			
勤務先			
連 絡 先	氏名		会員番号
	勤務先		
	所在地	〒	
	e-mail:		
	TEL	() -	FAX () -

発表の概要